

広島大学公開講座2009

「恋愛と性の講座」

「恋愛と性の講座」は、講師の先生方に恋愛を含む多様な視点から、分りやすくお話をしていただく講義形式の講座です。

キーワードは、『専門家からのメッセージ』。少しでも関心のある方は、年齢を問わず、広く学外の方のご参加も歓迎します。

保健管理センターでは、大学生を対象に性に関する様々なテーマを取り上げ、「生と性」について考える講座を2003年より開催しています。

講義は一回完結となっていますので、部分参加も可能です。申し込みは不要で、直接会場にお越し下さい。4回以上参加された方には、広島大学修了証書を授与します。

お互いのこと、
もつと知ってみませんか？



参加者の声

自分自身を見つめ直すきっかけになり、
また、将来のことも真剣に考えました。(19歳)

誰でも考えたことがある男性と女性について、
今日のお話のように深く考えたことはなく、
楽しめました。(22歳)

以前からこの講座があるのは知っていたのですが、
参加できず(せずに)いました。もったいないことをしました。
(43歳)



会 期：2009年10月16日(金)～12月5日(土) 全6回講座
時 間：木・金 16:20～18:20, 土 14:00～16:00
会 場：広島大学総合科学部事務棟3F 第一会議室 (東広島キャンパス)
参 加 費：無料

*一回のみの参加も歓迎します。

*連日実施(同一講師によるもの)は、同一内容です。

*講演内容等詳細は、裏面をご覧ください。

後 援：広島県教育委員会・東広島市教育委員会
主 催：広島大学保健管理センター

〒739-8521 東広島市鏡山1丁目7番1号

TEL: 082-424-6192, E-mail: health@hiroshima-u.ac.jp

たくさんの参加、お待ちしております！

講師	内 容	日 時
第1回 藤土 圭三 (広島文教 女子大学 名誉教授)	「性と生と生活と人生と…何が言いたい！」 人間行動の原動力は何か？それは欲求であると言われるようになって久しい。しかし最近では人間行動の源泉を欲求だけに結び付けようとする考えは注目されなくなった感であるが、ここでは再び人間行動と欲求との関係から、性と生について検討してみたい。人間(生活体)行動の原動力として(1)生理的・基本的欲求と(2)心理・社会的欲求の2つが想定される。確かに空腹が空いたと感じさせるのは食欲であり、寝くなるのは睡眠欲求のなせる技かも知れない。よく寝てよく食べてよく排泄する人は基本的に健康である。しかも生理的・基本的欲求(食・睡眠・排泄)は欠乏欲求であり、心理・社会的欲求(何かを成就したい・他者から認められたい)は達成欲求である。それでは性のためにはどんな欲求が想定されるのだろうか？それは性欲求であり、その特徴は欠乏と充足の両機能を備えている。このような(3)性欲求は我々生活体が生きるためには、どのような影響があるのだろうか？皆様と共に考えたい。	10月16日(金) 16:20~18:20 10月17日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第2回 堀 成美 (国立感染症研究所 看護師)	“人生80年 時代の危機管理”：セックスが原因のトラブル事例から学ぶ ものごと何でも、いい面もあれば反対の側面もあります。どちらも現実。理想だけでは生きていけませんので具体的な危機管理を学びましょう。例えば、人生で持ちたい子どもの数が2人なら、子作り以外は完璧な避妊技術をマスターしないとイケないわけですし、コンドームで予防できない性感染症に対する対策はどうすればいいのか。セックスがすでにあるのに「子宮がん検診を受けたことがない！」がいかにトホホかを知らないといけないです。おトク情報としては、男性が好きな男性ならば接種しておいたほうが良いワクチンがありますし、確実な避妊を目指す女性には低用量ピルを安く購入する工夫も重要です。上手に対応している人のノウハウと、失敗から学んだ人のノウハウを一緒に考えてみましょう。	10月23日(金) 16:20~18:20 10月24日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第3回 中塚 幹也 (岡山大学 保健学研究科 教授)	「生命のつながりと性」 生命は、思春期の恋愛、妊娠、出産、子育て、そして、子どもの成長へと世代を越えてつながっている。しかし、そのらせん状のつながりを断つものは身の回りにあふれている。医療の現場では、若年者の人工妊娠中絶、クラミジア感染に伴う不妊、HPV感染症など、多くの問題を抱えている。また、デートDV、望まない妊娠、児童虐待などの現状もある。これらの生と性に関するいくつかの問題をテーマに、生命のつながりについて考える。	11月6日(金) 16:20~18:20
第4回 黒瀬 敏彦 (岡山県 加茂川中学校 教頭)	変わりゆく社会「生」と「性」 我が国は、第二次大戦後、産業の近代化を推し進め、物質的豊かさ、生活水準の向上は図られたが、近代以降の男尊女卑の思想や制度は、依然として社会に残存する。現在、子どもも大人も、「性」を科学・人権・自立・共生の視点で正しく学ぶ機会は、ほとんど無いのが実態である。その結果、「性」にかかわる様々な大きな問題や課題が生じている。「生」と「性」にかかわる世界の潮流は、両性の平等や共生、女性の権利・社会的地位の向上であり、課題としてHIV感染者・エイズ患者の増加の問題がある。我が国においても、「生」と「性」の問題は1980年代以降、大きく変わってきた。各種メディアの発展は、アダルトビデオ・DVD、ネットやサイト・雑誌などによる「性の商品化」と性犯罪、出会い系サイト・援助交際のトラブルや悲劇を助長した。また、社会では、ドメスティック・バイオレンス(DV)、性感染症の広がり、望まない妊娠、結婚をしない・結婚が出来ない男女、格差の広がりで「生」自体が脅かされる深刻な状況にある。この講座では、変わりゆく社会における「生」と「性」の問題、恋愛の変化、男女の性、多様な性、「共生」の問題を考えていきたい。	11月13日(金) 16:20~18:20 11月14日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第5回 北仲 千里 (広島大学 ハラスメント 相談室 準教授)	愛という名の支配？ドメスティック・バイオレンスとストーカー ドメスティック・バイオレンスは「ジェンダー」の問題としてもまた、「家庭・プライバシーと社会との関係」の問題として考えることもできます。ドメスティック・バイオレンスやストーカー問題の特徴はどのようなもののでしょうか。同じ家庭内暴力でも児童虐待問題などと、法や援助方針はどう違うのでしょうか。DV問題が少しでも解決していくために、社会がどう変わる必要があるのでしょうか。	11月20日(金) 16:20~18:20 11月21日(土) 14:00~16:00 (同一内容)
第6回 有元 伸子 (広島大学 文学研究科 教授)	文学にみる恋愛と性〜ロマンチック・ラブからクィアへ〜 「恋愛は論じられるものではなく、するものだ」とは言われるものの、人は「恋愛」をするときにお手本やヒントを求めたものです。そして、古今東西、文学作品は、その格好のお手本(反面教師も含めて)となり続けてきました。今回は、前半で、夏目漱石「三四郎」から山田詠美「放課後の音符(キイノート)」にいたる小説作品をいくつかとりあげて、日本の近現代文学に描かれた恋愛や性の様相を簡単にふりかえります。その上で、後半では、三島由紀夫の「仮面の告白」と「潮騒」の2作を少し丁寧に読みましょう。50年前に書かれた小説とは思えないくらい、今日的な面白さに満ちています。鍵語は、「ロマンチック・ラブ」と「クィア」。恋愛-結婚-性が三位一体となるべきだという「恋愛結婚(ロマンチック・ラブ)イデオロギー」と、異性愛中心を相対化する性的マイノリティたちの自己規定である「クィア」。一緒に作品を読むことで、皆さんが恋愛や性を考える手がかりとなればと願っています。	12月5日(土) 14:00~16:00

会場へのアクセス

会場
 広島大学総合科学部事務棟3F 第一会議室

- ・会場の総合科学部は、広島大学東広島キャンパスの南西側にあります。
- ・西条駅からバスでお越しの場合、「広大西口」が最寄りのバス停になります。
- ・学外から車でお越しの場合、大学の外周道路(路線バスの経路)を通り、大学の南側の3ゲートから入場し、この駐車場を利用してください。

会場周辺図